



せせらぎの会(藤七原)
会長 金田脩さん

平成11年にホタルが飛ぶのを見つけて感動したのが設立のきっかけ。平成12年から清谷川の清掃や草刈り、ホタルやカワニナの調査を行っています。

Q 活動をしてみて変わったことは？

A 川がずいぶんきれいになりました。農薬を控えるなど地域の皆さんが全面的に協力してくれたおかげです。上流の石灰質の岩石は、酸性の川の水を中和しているのですよ。残念なのは、ペットボトル

のごみが増えたこと。ホタル観賞のときはマナーを守ってくださいね。



ホタルの飼育活動に取り組む
伊藤三也さん

平成元年からゲンジボタルとカワニナの人工飼育、自然発生を手がけています。今では2000匹ものホタルの乱舞が見られるまでになりました。

Q 活動していて嬉しかったことは？

A ホタル観賞に来た人からの「わぁ、きれい！」の歓声が最高の誉め言葉。本当にやっていて良かったと思います。川も、地域の人々の努力できれいになり、手を入れずに済む場所もあります。これはすごいこと。一人一人の川を守る気持ちがあれば、ホタルは減りません。



ホタルの保護活動や清流を守る取り組みの紹介

市内のホタルの名所として知られる清谷川、庄司川、免々田川。ホタルや清流を守るために活動をしている方々に、取り組みについてお話しいただきました。



ゲンジボタルの幼虫



カワニナ



免々田川のホタルを守る会
代表 宮川直樹さん

平成14年から、当時の清田小と福江小の児童とその保護者で活動を開始。免々田川の清掃やホタル観察会、川遊びなどを行っています。

Q 活動を通して伝えたいことは？

A 川を通して、自分たちの地域が良いところだと子どもたちにも知ってもらえることが出来ました。川の保全には、地域や人のつながりが大切だと伝えたいです。免々田川沿いの河津桜も、このホタルを守る会の活動が縁で、植えられたのですよ。



ホタルやカワニナがすめる環境は、人にとっても優しい環境です。皆さんが住む地域の川を、一度見てみましょう。かつては、ホタルが舞う清流だったかも知れませんが、ホタルを通して広がり、つながっていく地域や人の輪。豊かな自然があるからこそ、次代へとつなげていく心を、みんなで守っていきましょう。

環境衛生課 23局3541

ホタルは卵や幼虫のころから光っているんだって！

ホタルの光は「言葉」と同じ。ラブコールも光ですよ！

